

## 幼稚園お話集

「お話は心の糧である。よき糧は、うまみとやしないとなが与えようとするものである。消化は幼児の心の力への適不適による。そうして、恐らく一番肝心な味は幼児の好悪にある。してみれば、よきお話の選択はおとなと幼児達との合議によって初めてできる。合議という大げさだが、話してみ、聴いてもらってみた上でのみ選定できる。この集は、こうした意味で、お茶の水女子大学付属幼稚園で、先生達と幼児達との選によつたものである。敢て幼稚園お話集の名を冠する拠もそこにあり、広く幼稚園、保育所、及び家庭で、幼児のためによき心の糧となることを望む」はしがきより、日本幼稚園協会編、新装版出来。上・中・下各二〇〇円

「この書は幼稚園という集団生活の中でおこることがらを主としてあつかっている。子どもたちが、朝、幼稚園にきてかえるまで、どのような生活をつくっていったならばよいであろうか。そこにどういふ内容のことを盛りこみ、この幼きものに対して、どういふ指導をしたならばよいかというのがここでの課題である。幼児の教育の内容と指導の実際が、子どもたちの生活をそこなわなないように、さらに子どもたちのよりよい生活の助けとなることを願っている。そしてここにまとめたものが、つぎの段階への一つの小さなふみ石となることをのぞんでい

る」まえがきより、お茶の水女子大学付属幼稚園 幼児教育  
訂改 幼児の教育内容とその指導 研究会  
三二〇円

## 年間保育計画

本書は、「保育の手帖」創刊以来、丸三年間にわたって、保育案研究委員会が研究した保育計画の大スジを一さつにまとめたものです。最初「保育案の考え方と作り方」と題して、「保育の手帖」創刊とともに同誌に掲載された、委員会の研究は、この三年間に、着実な歩みをつづけ、地に足のついた、また広く、柔軟な活動を積み重ね、いわゆる、スジの通つた保育案として各方面の反響をよびました。本年から同誌では、社会、健康、絵画製作の三要素を系統的に研究する保育内容研究会を組織して研究を發表しておりますが、本書はこの際、土台となる従来の研究を一書にまとめ、読者の方々の、参考にと發刊するものです。三木安正先生編著。近刊 予価二五〇円

幼児の造形活動を適切に指導していくことが、どんなに幼児の心身の発達に、力づく影響するかということは、周知のことです。しかし、どうしたらよいのかということになると、非常にアイマイです。

本書は、白梅学園短期大学の教授であり、新しい画の会を主宰されている井手則雄先生が、多年に亘る研究をもとに、幼児の造形に関する指導の方法を、一書にまとめられたものです。本書を読まれた上で、従来の既成概念を追いはい、たのしく、のびのびした、造形活動を幼児に与え、幼児の心身を、正しく、明るく導いていただきたい

## 幼児の造形指導

いと願っております。  
近刊 予価一五〇円